

仲良しチームが奏でる元気なリズム

卷頭特集

和太鼓もりやん

力強い太鼓の音とぎやかな子どもの声。

体育館で和氣あいあいと練習に励むのは

「和太鼓もりやん」のみなさん。

太鼓の音色とユニークな演出、楽しそうに演じる姿が多く人の心を和ませています。

温かい雰囲気がつくる 70人超えの和太鼓チーム

「和太鼓もりやん」(以下、もりやん)は、現在2歳から70歳までの幅広い年齢層で構成される和太鼓チーム。守山文化祭をはじめとする地元の祭りや、シヨッピングモールのステージなど、守山区を中心に年間40回ほど舞台に立っています。「出演するのは、ありがたいことに、すべてご依頼をいただいたステージばかりです。多くの人に喜んでもらえてうれしいです」と代表の宇野寿起さんは話します。

チーム誕生のきっかけは、小

学校トワイライトの太鼓講座で

した。講座は月に1回。「もっと子どもに太鼓を教えてほしい」という保護者からの要望を受け、2006年にもりやんを結成しました。

当初、メンバーは宇野さん夫妻を含め、大人3人と小学生3人。小学生チームだったこともあり、押し付けるのではなく、自動的に太鼓と向き合えるチームを目指しました。「のびのびと太鼓と触れ合い、メンバー同士が仲良くなって、子どもたちの居場所になれば」という思いで、月に3回、2~4時間の練習をします。「仲間に会いに来るのも楽しみのひとつ」という人が多く、練習中はいつもにぎやか。幼い子どもが広い体育館を走り回っています。

チームのテーマは「仲良く、楽しく、朗らかに」。結成当初の考え方はいまも変わりません。月に3回、2~4時間の練習を開催したりと、思い思いで過ごしています。「さばついていなかった」と、当時を振り返ります。そんな温かい雰囲気に引き込まれるかのように、人が人を呼び、現在、70人を超えるまでになりました。

家族全員で取り組む 楽しい練習の時間

チームワークの良さが一番の魅力です



代表の宇野寿起さんと寿美さん。仲良し夫婦が大家族のようなチームをまとめ、支えています

全員で舞台を盛り上げ 見ている人を笑顔に

もりやんには補欠がありません。幼い子どもも团扇や鈴を持つかれています。役割があります。全員がレギュラーで、チームに入つた次の日から舞台に立つこともしばしば。「初日から私服で舞台に立ちました」「いきなりでドキドキしたけれど、それが楽しい」と、みなさんは入った当时を振り返ります。

「イベントに出るのが一番の目的ではありません。お客様

宇野さん。親子で参加している人が多く、母と子が楽しそうに取り組む姿を見て、次第に父親も輪に入るなど、家族全員で参加する家庭も少なくありません。「打てば響くシンプルな樂器ですが、力の加減で音域が変化するものが和太鼓の魅力です。打ち手による違いを家族で楽しみ、共有できます」。男性の参加者も年々増加し、取材当日は父兄座談会が開かれていました。

「代表らしくしないよう」と、意識をしています。代表という立場で接するとみんなが気を遣つてしまふ。先輩・後輩もありません。できる人が周りで困っている人にアドバイスしてくれるので、「初日から私服で舞台に立ちました」「いきなりでドキドキしたけれど、それが楽しい」と、みなさんは入った當時を振り返ります。

「遊んで帰る子もいますが、次第に教えてほしいといいに来るようになるんですね」と宇野さんは子どもの成長を温かく見守ります(下右)。小さいころは面倒を見ていた子が面倒を見るようになることも多く、もりやんを通して子どもの成長を感じているそう(下左)。大きな声を出しながら、力強い音を響かせます

が全くいなくても楽しめるチームづくりを心がけています」と宇野さん。演奏中の間違いも「それはその日の演出」というように考えます。その堂々とした演奏が見ている人を気持ちよく、元気にさせてくれるのです。

太鼓の演奏はもちろん、踊りや小芝居、歌などのユニークな演出も人気の理由です。踊りを創作するのは妻の寿美さん。両親が沖縄出身で母親が琉球舞踊をしていたこともあり、観る人を愉快にさせるアイデアが満載。

「名古屋ウイメンズマラソンのときには『三百六十五歩のマーチ』をみんなで踊りました」とほほ笑みます。

地域にパワーを届け続けるもりやん。「守山区全体で活動できることに感謝しています。チ

ームへの参加も大歓迎。いつでも練習に遊びにきてください」と呼びかけます。近年では、守山区を飛び出して、公演に出かける機会も増えてきました。

これからも、家族のような温かさと元気を、和太鼓の音色に乗せて届け続けてくれるでしょう。

和太鼓もりやん
練習場所 長湫公民館／志段味スポーツランド
問い合わせ yookooodoo09rs@kdr.biglobe.ne.jp
facebook「和太鼓もりやん」で検索！
出演情報
2月11日(土)・12日(日) 場所:モリコロパーク
リビングメーテレマラソンバーディス2017
2月26日(日) 場所:名古屋市障害者スポーツセンター
めいとう福祉まつり2017
3月12日(日) 場所:未定
名古屋ウイメンズマラソン2017 沿道応援隊



上)衣装は寿美さんのお母さんが手づくりしたものがほとんど。デザインには沖縄らしさが垣間見えます 右)全員揃うと70人を超える「和太鼓もりやん」。太鼓6種類と踊り、歌、小芝居で会場を盛り上げます



上)「遊んで帰る子もいますが、次第に教えてほしいといいに来るようになるんですね」と宇野さんは子どもの成長を温かく見守ります(下右)。小さいころは面倒を見ていた子が面倒を見るようになることも多く、もりやんを通して子どもの成長を感じているそう(下左)。大きな声を出しながら、力強い音を響かせます